

社会

1 出題のねらい

「地理的分野」、「歴史的分野」、「公民的分野」から均等に出題し、我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関する理解と、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明する力をみることをねらいとした。

- (1) 「地理的分野」については、地理的事象を地図や資料との関係において出題し、世界と日本の地域構成、世界や日本の様々な地域に関する自然環境や産業などからみた地域的特色などについて問うものとした。
- (2) 「歴史的分野」については、歴史的事象を年表や資料との関係において出題し、我が国の古代から近現代までの各時代の特色と移り変わり、我が国と世界の歴史上の関連などについて問うものとした。
- (3) 「公民的分野」については、現代の社会的事象を資料との関係において出題し、現代社会の特色、政治のしくみ、経済のしくみ、国際社会の諸課題などについて問うものとした。

2 結果の概要

平均点は25.1点で、昨年度より1.7点上がった。基本的事項については、地理的分野では一定の定着がうかがえるが、公民的分野や歴史的分野では十分とは言えない。特に、歴史的分野では、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて捉える力や、歴史的事象のつながりを捉える力に課題がある。また、全分野を通して、資料を活用して思考・判断・表現する力に課題がある。

- (1) 平均点(50点満点)の推移

年 度	R 5	R 4	R 3	R 2	H31
平均点	25.1	23.4	24.9	19.4	25.1

- (2) 正答率の推移

年 度	R 5	R 4	R 3	R 2	H31
地理的分野	65.7	54.3	46.2	40.1	48.6
歴史的分野	31.8	49.7	43.3	34.9	42.4
公民的分野	55.2	47.4	61.6	50.9	55.4

3 結果分析に基づく今後の指導のポイント(【 】は該当問題番号)

- ☞① 資料等を活用して思考・判断・表現する力を身に付けさせること。【1】3, 【3】4など

資料から読み取った情報をそのまま表現することには一定の力が見られるが、資料から読み取った情報を、すでに習得している知識と関連付けて表現したり、問いで示された条件に沿って整理して論理的に表現したりする力は十分でない。自分の考えを論理的に説明する表現力を養うためには、根拠を示しながら自分の考えを説明する活動を繰り返し実施して、その習熟を図ることが大切である。また、社会的事象の内容を教科書の記述をもとに適切に表現する活動にも取り組ませたい。

- ☞② 歴史の大きな流れや歴史的事象のつながりを捉える力を付けさせること。【2】2, 3

我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて捉える力や歴史的事象のつながりを捉える力が十分でない。我が国の歴史上の出来事に影響を与えた世界の動きについては、我が国の歴史との関連付けを図りながら指導していく必要がある。また、各時代の特色をおさえるにあたっては、政治の展開、産業の発達、社会の様子、文化の特色など、他の時代との共通点や相違点に着目して、多面的に考察する学習が重要である。歴史的事象についても個別に理解させるだけでなく、時間的推移や他との関係性に注意しながら理解させる必要がある。

問 題		正 答		正答率	誤答率	無答率	
1	1	(1)	㉠		61.0	39.0	0
		(2)	リアス海岸		78.5	17.0	4.5
	2	大阪府	イ		72.7	26.8	0.5
		京都府	ア		85.2	14.3	0.5
	3	(例) 観光客や釣り客に快適に楽しんでもらうことと環境保全の両立を図るため。		37.1	48.8	6.4	
部分点		7.7					
4	エ		55.7	44.3	0		
2	1	法隆寺		58.1	36.1	5.8	
	2	エ → ア → ウ → イ		15.1	84.6	0.3	
	3	ア		32.1	67.9	0	
	4	イ		38.2	61.3	0.5	
	5	使節の名称	朝鮮通信使		8.8	76.6	13.8
派遣されたとき		将軍が代わったとき。		部分点 0.8			
3	1	性別		37.1	56.3	6.6	
	2	イ		70.0	29.7	0.3	
	3	ウ		75.3	24.4	0.3	
	4	(例) 1993年と2020年を比較すると、登録弁護士が全くいないか、1人しかいない地域は減っており、大きく減っている県ほど、法テラスの事務所が多く設置されている傾向がある。		17.5	70.0	8.5	
		部分点		4.0			
5	ウ		93.3	6.4	0.3		
4	1	(1)	㉡ → ㉢ → ㉠		57.3	42.7	0
		(2)	B		50.4	49.3	0.3
	2	(例) インドやタイでは、国内の乗用車生産台数の割合の多くを日本系企業が占めている。		67.1	23.1	4.2	
		部分点		5.6			
	3	エ		85.1	14.9	0	
4	モノカルチャー経済		73.5	19.6	6.9		
5	1	ア		30.2	69.5	0.3	
	2	ウ		30.2	69.5	0.3	
	3	(例) ワシントン会議で、海軍の主力艦の保有を制限することが取り決められ、軍備縮小を行ったため。		8.8	68.6	21.5	
		部分点		1.1			
	4	二・二六事件		41.1	55.4	3.5	
5	エ		56.3	43.2	0.5		
6	1	持続可能な開発目標		82.8	13.8	3.4	
	2	イ		67.9	31.3	0.8	
	3	(1)	資本		30.2	65.0	4.8
		(2)	(例) 歳出が税収を上回っているときに、税収の不足を補うため。		22.8	67.9	6.4
部分点		2.9					

※ 正答率等の数値については、学力検査受検者の中から10人に1人の割合で抽出した377人分の答案を対象として算出した。